

高度最新医療を担う 日本医科大学千葉北総病院

新連載コラムのご案内
日本医科大学千葉北総病院は、大学病院としての機能を十分活かしながら、地域に根付いた病院として、日々医療業務に携わっています。この度、各部門の先生方からご協力をいただき、最新の医療情報・健康管理情報を6回に渡りコラムの形で読者に提供いたします。

本企画は、地元の医療機関との更なる連携・情報の共有化にも寄与するものと考えています。第1回の寄稿は、別所竜蔵院長、以下、5人の先生方、中村慶春がん診療センター長、山崎峰雄認知症疾患医療センター長、鈴木康友低侵襲ロボット手術センター長、藤森俊二内視鏡センター長、藤井正大循環器センター長に執筆いただく予定です。

編集部

日本医科大学千葉北総病院は 開院30周年を迎えました 地域の皆様とともに 継承と発展を

日本医科大学千葉北総病院

院長 別所 竜蔵



別所 竜蔵 院長

日本医科大学千葉北総病院は、1994年(平成6年)に開院し、本年で30周年を迎えることが出来ました。今日まで当院を支え、ここまで育てていただいた関係者らに、印西市民の皆様により御礼申し上げます。

当時全国で唯一の「村」にある大学病院が誕生

1994年1月26日、強 授のもと、59床(3階 固な地盤を有する北総台 東病棟53床、集中治療室 6床)にて開院し診療を 開始しました。当初、行 保博先生(救命救急科) 国際性にも対応しつ

地域の中核病院を目指すことの基本構想のもと、当時全国で唯一の「村」にある大学病院のスタートでした(2010年3月に印西市、印旛村、本誓村合併により新印西市へと移行し現住所は印西市)。

1996年には二代目院長の山下精彦先生消 化器外科教授のもとで 千葉県災害拠点病院に指 定され、2011年には 全国に先駆けて当院を基 地病院としたコードブル

2020年4月から私 (心臓血管外科教授)が 六代目院長を拝命したの ですが、その際に一人一 人の患者さんに、全職 員が真摯に向き合うこ と、病院の一つ一つの 問題点に全職員が一丸 となって対応することを 頭に、院長の病院理念と して「ALL for One」を 掲げさせていただきます

「ALL for One」を病院理念として掲げ、院内が一致団 結してコロナ禍に立ち向かう

2020年4月から私 (心臓血管外科教授)が 六代目院長を拝命したの ですが、その際に一人一 人の患者さんに、全職 員が真摯に向き合うこ と、病院の一つ一つの 問題点に全職員が一丸 となって対応することを 頭に、院長の病院理念と して「ALL for One」を 掲げさせていただきます

延し始めているところで、 4月7日には当時の安倍 晋三総理大臣が「緊急 事態宣言」を発出しま した。諸先輩院長の華々 しい活躍を存じ上げ ていた若輩の私にはと んでもない日々の始ま りとなり正直暗澹たる 気持ちに陥っていました

が一致団結し真摯にコ ロナ禍に対応してくれ たお陰で、なんとかこ の厄災を乗り越えるこ とが出来ました。まろ しく「ALL for One」 の精神で新型コロナウイルスに立 ち向かってくれたので す。コロナ禍期間中には

院長就任後も、開院以 来使用し続ける老朽化し た高額の医療機器の最新 版への更新も順調に進め ることが出来、全病棟の リニューアル工事も昨年 3月には終了しました。 このコロナ禍という猛烈 な逆風においても、今後 の病院の機能向上に伴う 地域医療への更なる貢 献として、2020年10月

院長就任後も、開院以 来使用し続ける老朽化し た高額の医療機器の最新 版への更新も順調に進め ることが出来、全病棟の リニューアル工事も昨年 3月には終了しました。 このコロナ禍という猛烈 な逆風においても、今後 の病院の機能向上に伴う 地域医療への更なる貢 献として、2020年10月

きたことから、2022 年12月にはさらに2台目 の導入し、千葉県下の大 学病院では初の2台体制 を確立し「低侵襲ロボッ ト手術センター」を開院 症例を達成する勢いとな っております。

当院は現在、「千葉県 災害拠点病院」である同 時に、「高度急性期医療を 担う」「高度急性期医療の 拠点」として、救命救命 センター、循環器センタ ー(集中治療室、循環器 内科、心臓血管外科)

脳神経センター(ストロークケアユニット)、脳 神経外科)を中心に最 先端で垣根のない重層 的な診療を行っており、 また「地域がん診療連 携拠点病院」として院 内のがん診療センター を中心に各種がんの診療 に積極的に対応してお ります。さらに近年の 急速に進行する高齢化 社会における大きな課 題の一つである認知症

市での成田赤十字病院へ の救急医療体制整備事業 など。人口の増加も全 国第2位の印西市の住 民の方々が安心して暮 らせる基盤を維持する ために、行政には隣接 市と大きく異なる状況 をご理解いただき、ご考 慮いただければと、切 にお願い申し上げます。

また五代目院長の内野 精彦先生(循環器内科 教授)就任後の2015 年には「地域がん診療 連携拠点病院」に新た に認定され、同年厚生 労働省「外国人患者受 入れ環境整備事業」の 補助金モデル事業「医 療通訳拠点病院」に選 定されました。現在 認定されている JIH (Japan International Hospitals) 推奨病院の 基盤として大きな役割を 果たしました。2018 年には2階西病棟を救 命救急センターの重症病 棟へ改築し、それに伴い 26床を減床しております (600床→現574床)。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

2021年10月には念願 する第三者評価ともい え「World's Best Hospitals」に202 1年より2023年に渡 り3年連続での認定をい たたきましたことは、院 長としても望外の喜びで した。

医師の働き方改革

稿を終えるにあたり、 2024年度から開始さ れる「医師の働き方改 革」について短く述べさ せていただきます。これ は罰則を伴う法制度で、 単純に言ってしまうと、 労働時間を短縮させるこ とです。当院のように 24時間365日、高度な 救命治療を行う施設にと つては、死活的な問題を 含んでおります。特に夜 間、休日の緊急対応を行 う医師や医療スタッフの 待遇の改善が必須の状況 です。行政の区分によっ てその支援状況が大きく 異なることは、「救急医 療の最後の砦」である三 次救急施設を社会的インフラとしてとらえるか、 という問題でもあり ます(具体的には、成田

目を迎えた病院として、 最新の設備や医療 機器の絶え間ない更新 を行い、そして何よりも 代えがたい高度な医療 技術と強い診療科間の 横の連携を有する医師 団に加えて、看護職員、 医療スタッフの優れたホスピタリティを有す

る当院の今後の益々の 発展のため、職員一同 一層の精進を積み重 ねていくことをお誓い いたします。今後とも皆 様方からの変わらぬご 厚誼とともに、より一 層のご指導・ご鞭撻を 賜りますようお願いす お願いを申し上げます。